

事業評価シート（平成26年度分）

1. 事業の位置付け

事務事業名	災害時医療提供推進事業		
事業担当	市民病院 病院総務課		
事業種類	ハード	ソフト	
総合計画の位置付け	'02	基本目標2 子育て、長寿を楽しみ、安心していきいきと暮らせるまち	
	'03	健康・安心・福祉力 その人らしく安心して生活を支援する	
	'02	2 多様な地域課題に的確かつ総合的に対応する地域密着のサービスを充実する	
根拠法令等			
対象・受益者	市民、病院	事業期間	
委託・協働	【委託： 3セク・財団 企業 NPO その他】【協働： 地域住民】		
	目的・目標		事業の概要
病院職員及び住民が、実践的訓練を通じて、その役割を理解し、災害時の患者の受け入れや医療体制が最大限発揮できるようになっています。		災害時に医療拠点病院としての機能を発揮するため、地域住民も参加する実践的な災害対応訓練等を実施します。	

2. 事業の検証

活動指標	指標名	訓練実施回数			単位	回
	説明・算定式					
		平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	
	目標	1	1	1	1	
	実績	0	1	1		
活動指標	指標名				単位	
	説明・算定式					
		平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	
	目標					
	実績					
成果指標	指標名	訓練参加者数			単位	人
	説明・算定式					
		平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	
	目標	200	200	100	100	
	実績	0	232	162		
成果指標	指標名				単位	
	説明・算定式					
		平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	
	目標					
	実績					
進捗状況	：予定どおり					
	遅れている理由					
平成26年度の主な取組と成果						
平成26年度は、10月に災害対応医療訓練を実施しました。また、県主催のビッグレスキューかながわ、日本DMATの研修や国の訓練等に参加しました。						
平成26年度の検証結果	A：成果があがった					

事業分析	項目	分析の視点	左記の視点に関する分析・課題の抽出	総合評価
	必要性	市民ニーズ 事業目的の達成状況 市の関与の必要性 その他	病院職員による地震発生後を想定した対応訓練等は、災害時における初期対応の重要性について意識を高め、各自が何をすべきかを自覚させるために必要と考えます。	高低
	有効性	上位施策への貢献 市民満足度を高める方策 継続による成果向上の可能性 その他	災害時医療拠点病院として機能するよう、毎年継続して訓練することにより有効となります。	高低
	妥当性	事業の目的、対象、内容 受益者負担、補助額 業務の執行体制(人員配置、業務分担) その他	災害時における病院機能を発揮するため、地域住民の参加する実践的な訓練をすることで、各職場における防災対策への意識付けができ、妥当と考えます。	高中低
	効率性	業務プロセス改善による効率化の方策 コスト削減の可能性 事業手法(民活の余地、事業形態の検討) その他	国・県等が主催する訓練等に参加し、最新の訓練を院内に取り入れることができ、大きな成果を上げることができます。	高中低
今後に向けた課題の分析 今後も実践的な避難訓練を実施していきますが、全病院職員の防災意識を高め、さらに災害時の対応能力を向上させていくことが課題です。また、新棟整備に伴い敷地内の施設の変更があり、訓練を行う場所等の確保が必要です。				

3. 年度別事業内容・決算額

(単位:千円)

		平成24年度 決算額	平成25年度 決算額	平成26年度 決算額	平成27年度 予算額
事業内容		地域住民も参加する訓練の実施	地域住民も参加する訓練の実施	地域住民も参加する訓練の実施	地域住民も参加する訓練の実施
財源内訳	国庫支出金	0	0	0	0
	県支出金	0	0	0	0
	起債	0	0	0	0
	その他 特財	0	0	0	0
	一般財源	0	366	398	400
事業費 (A)		0	366	398	400
執行率 (%)		0.00	91.50	99.50	

4. 今後の事業展開(担当課としての提案)

平成28年度の取組方針 地域住民も参加する実践的な災害対応訓練等を実施します。
課長コメント 災害時に医療拠点病院としての機能を発揮するため、地域住民の理解を得た上で、地域住民が参加する実践的な訓練を実施することは有意義です。